

2005年

12

月号

Stage Up

生涯学習情報誌
ステージ・アップ
通巻 No. 146

もくじ

- 8 イベントパーク
- 7 まち・ひと・多面体／くらし百景 俳壇
- 6 芸術・文化ロード
- 4 特集 川崎市市民ミュージアム企画展「メイド・イン・カワサキ」
- 3 まなびの広場
- 2 アカデミーの窓



ポスター「室内装飾業 アルティザン・モデルヌ（現代の職人）」アンリ・ド・トゥールーズ＝ロートレック

発行・(財)川崎市生涯学習財団
〈ホームページ〉 <http://www.kpal.or.jp>

〒211-0064 川崎市中原区今井南町514-1
TEL 044 (733) 5560(代)/FAX 044 (739) 0085
ステージ・アップ直通 TEL 044 (733) 5811 E-メール: stage-up@kpal.or.jp



アカデミーの窓

かわさき市民アカデミーの情報

市民による自主企画「ワークショップ」あれこれ

「かわさき市民アカデミー」では、講座の他に平成17年度から新たに市民自主企画の「ワークショップ」を実施しています。これは、企画から運営まですべて市民の手で進められています。今回は現在開設している「ワークショップ」を紹介します。

「人間の思想Ⅰ」〈こころ〉の時代がやってきた

現代の日本社会を特徴づけるストレス、不安、病理。これらを解き明かすカギとして〈こころ〉の時代を考えています。「人間の思想Ⅱ」とらわれない、こだわらない生き方を考える道元の思想『正法眼蔵』を学びながら、新しい人間関係を考えていくワークショップです。

「社会の思想Ⅰ」近現代中国の政治思想

受講生アンケートで関心の高かった中国をテーマに、前期は孫文の著作を、後期は『鄧小平文選』を読んでいます。

「社会の思想Ⅱ」低成長時代の日本の経済の展望

グローバル化した世界経済における今後の日本の経済のあるべき姿について研究しています。

「歴史」日本史を変えた人物列伝

古代から江戸時代まで、歴史上の人物をテーマにしながら時代を読み解いています。

「社会福祉」地域福祉—福祉のまちづくりと高齢者の住環境

地域性を考慮した居住環境について、あらゆる人々に住みやすい街づくりを考え提案します。

「文学」川崎の文学を読む

川崎にゆかりのある作品について、まちや暮らし、人々の

意識に注目しながら、読み進めています。

「美術」19世紀の美術Ⅱ〈レアリスム以降の画家たち〉

印象派以前に近代西洋絵画の基礎を確立した19世紀の画家たちを中心に学んでいます。

「政治国際」ポスト・デモクラシーとは何か

21世紀の新しい課題に、なぜ市民は沈黙しているのか。市民の側の問題として討議しています。

「生活と環境」持続可能な社会をめざして

環境問題に継続的に取り組み、自分たちの周辺の課題を実践的な市民感覚で考えます。

「音楽Ⅰ」オペラ名曲の旅

オペラという音楽劇が18世紀末からどのような理念で新たな表現を獲得してきたか、検討しながら名作の名場面を味わっています。

「音楽Ⅱ」日本音楽の歴史と文化～江戸庶民の衣食住

江戸時代の庶民の暮らし方や能・文楽・歌舞伎などの楽しみ方を学んでいます。

「高齢者福祉」高齢者の理解と援助—人生を見つめる

高齢者の尊厳を支え、その人らしく生きるための援助について、体験や見学を交えて学んでいます。

「ボランティアⅡ」カウンセリングを学ぶ

傾聴ボランティア養成講座の修了生たちが、さらに専門的な学びを深めるため開設しました。

このように2005年度後期は、市民の知恵と学びが結集した14もの充実した「ワークショップ」が行われています。現在、来年2月の募集に向けて準備が進められています。詳細は新春号でお知らせします。

問い合わせ 事業推進室 ☎ 044 (733) 6626

講師紹介

自然に微笑みを 三島次郎先生

「川崎学Ⅳ」コース 小嶋 修

私がアカデミーと出会い、最初に受けた講座が三島先生の「川崎学」でした。そして、その出会いが私をアカデミーに深く引きずりこんでしまったのです。最初に三島先生は「自然が好きですか」と問いかけられました。自然の大切さ、動植物の置かれている現在の環境を語るそのお話から、自然に投げかける優しい眼差しのお人柄がうかがえました。

講義の中で、強く印象に残っているのが「進歩しないという進歩」という話です。人類の進歩が果たして未来を輝かしいものとして保障してくれるのか、人類のめざましい進歩によって得たものは何か、失ったものは何か、「進歩」に疑問を投げかけ、将来の地球と人類に緊急課題として環境破壊問題を提案する講義でした。

先生は生涯にわたり、人と自然とのより良い関係を追究し続ける学者であり、偉大なナチュラルリストであると多くの受講生が感じているのではないのでしょうか。

三島次郎先生の話から 「川崎学Ⅳ」コース 菅沼 俱万

「川崎学Ⅳ～川崎の自然と歴史」ではじめての講座は、三島先生の「自然」というテーマの講義でした。

自然との向き合い方について、学ぶ点が多々ありました。「地

プロフィール

三島 次郎(みしま・じろう)

1929年東京都生まれ。東京教育大学生物学科卒業。66年と68年には、第8次・10次南極地域観測隊員として生物を担当。75年より筑波大学、92年より桜美林大学で教鞭をとる。かわさき市民アカデミーの「川崎学Ⅳ」担当講師として活躍。



球誕生から営々と築かれてきた自然のサイクルを無視し、人間にとって良いと思う自然を造り出してきている」という警告や「自然は、人間が手をいれるものではなく、自然そのものの営みに任せることが本来の姿であり、結果として、ある種の動植物が増え過ぎれば、自然淘汰により、必然的な共生の世界になっていく。自然摂理の世界であるからこそ、ある種の動植物だけを保護するというのではなく、その生態システムを維持させることが重要」との話に、新鮮な感慨を覚えました。先生の強いメッセージを思いつつ自然界に接していますが、到底、先生の域には達しない自分です。

講師を派遣し学びを支援します

—川崎市教育人材センター—

「あいにくの雨でしたが、古き鎌倉にタイムスリップしたような気持ちになりました」「お寺のいわれなどを講師の中嶋先生が説明してくださったので、よくわかりました。勉強してみるともっと楽しめそう」。この感想は、玉川中学校PTA主催の「鎌倉歴史散歩」に参加した方から寄せられたものです。講師を務めたのはセンターから派遣された中嶋肇さん。

さいわい福祉健康プラザでは、幸区社会福祉協議会主催の「群読」(文学作品をみんなで朗読する演劇の一方法)講座が月2回のペースで開かれています。24人の参加者の平均年齢は74歳。「家ではほとんど声を出さない日もあるけど、ここに来ると、みんなと一緒に声を出せるので気持ちがいい」と休まず通う人が多いとのこと。講師の青木信雄さんもセンターからの派遣です。

川崎市教育人材センターでは、川崎市の学校を退職した教職員が、ボランティアとして専門分野ごとに上記のような講座の講師を務めています。小学校の課外活動や、英会話や囲碁、手品など趣味の会などの指導者として、皆さんの要望に応じた派遣をしています。

Eメールでの教育相談も開始

また、センターでは電話による教育相談「やまびこ相談」



「鎌倉歴史散歩」で参加者に説明する中嶋さん

を行ってきましたが、今年から新たにEメールによる教育相談も始めました。子どものことで気になること、心配なことなどありましたら、お気軽にご相談ください。

・電話相談…月曜から金曜の9時から16時

・メールアドレス…k-zinzai7474@miracle.ocn.ne.jp

「人材ガイド」を無料で差し上げます

約107人の指導内容を掲載した2005年版の「人材ガイド」(A4判14ページ)を発行しています。ご希望の方は140円切手を同封し、下記へお申し込みください。

〒211-0011 中原区下沼部1709-4

川崎市教育会館内教育人材センター

問い合わせ・電話相談 川崎市教育人材センター ☎044(435)7474

パソコンセミナー受講生募集

事業推進室では、パソコンの基礎から応用まで幅広く講座を開催しています。今回は2006年1月・2月の日程をお知らせします。

◆難易度・・・[やさしい] ☆<★<★★<★★★<★★★★☆ [難しい]

講座名	難易度	講座No.	開催日	受講料	申込締切
デジカメ画像編集	★★	1-A	1/13(金)	5,000円	12/26(月)
簡単ホームページ・ブログ	★★	1-B	1/17(火)	6,500円	1/4(水)
パワーポイントでプレゼンテーション	★★★☆	1-C	1/31(火)	5,000円	1/5(木)
パソコン入門	☆	1-D	1/19(木)・20(金)	13,000円	1/4(水)
パソコンステップアップ	★	1-E	1/23(月)・24(火)	13,000円	1/6(金)
WORD初級	★★	1-F	1/26(木)・27(金)	9,000円	1/10(火)
EXCEL中級	★★★☆	1-G	1/30(月)・2/6(月)	13,000円	1/13(金)
WORDで小冊子を作る	★★★★	2-A	2/1(水)	5,000円	1/17(火)
ゆっくりじっくりパソコンセミナー	☆	2-B	2/3(金)・10(金)・17(金)・3/10(金)・17(金)	25,000円	1/19(木)
EXCEL初級	★★	2-C	2/8(水)・9(木)	9,000円	1/24(火)
簡単ホームページ・ブログ	★★	2-D	2/13(月)	6,500円	1/27(金)
WORD中級	★★★★	2-E	2/15(水)・16(木)	13,000円	1/31(火)
パソコン入門	☆	2-F	2/22(水)・23(木)	13,000円	2/7(火)
デジカメ入門	★	2-G	2/21(火)	5,000円	2/9(木)
WORD初級	★★	2-H	2/27(月)・28(火)	9,000円	2/10(金)

★受講時間…9:30～16:30(昼休憩1時間あり)ただしWORD初級とEXCEL初級の2日目は12時で終了

★対象…18歳以上。1-A、2-B、2-Gは概ね50歳以上。定員各15人

★会場…川崎市生涯学習プラザ 3階研修室

◆申し込み…はがき・Fax・電話で。希望講座No.、〒、住所、氏名(ふりがな)、Tel、Fax、年齢、受講目的を明記

〒211-0064 中原区今井南町514-1 生涯学習プラザ内事業推進室 パソコンセミナー係

問い合わせ 事業推進室 ☎044(733)5894/Fax(733)6697

まなびの広場

財団主催の講座・相談・貸館などの情報

特集

川崎市市民ミュージアム企画展 メイド・イン・カワサキ



空から見た川崎 多摩川



空から見た川崎 臨海部

かわさきの底力 再発見

よその土地に住んでいる人から「川崎の名物って何?」と問われて、すぐに「これ!」と答えられるでしょうか。東京や横浜のような華やかさが言われる川崎。でも、ゆっくり街の中を眺めてみると、目立たないながらもたくさんの「輝き」を見つけることができます。

川崎市市民ミュージアムでは、新春1月から4月まで、これまでに類のないユニークな企画展「メイド・イン・カワサキ」が開催されます。この展示会は第1部「都市・川崎モノづくり物語」と第2部「都市・川崎を創造するーメイド・イン・カワサキ現代美術賞」の2部構成で行われる予定です。これを見れば、世界に誇る川崎のパワーを再発見できることでしょう。今号では、第1部の見どころについて、望月一樹学芸員に紹介していただきました。

長い歴史がある川崎

旧石器時代から始まり、1万年を越える川崎の歴史。奈良時代には、武蔵国橘樹郡の役所が置かれるとともに、影向寺が建てられるなど、政治・文化の中心地でした。また江戸時代には、江戸の生活基盤を支える農村が市域に広がっていました。一方で東海道には川崎宿が設置され、さらに厄除け大師である「川崎大師（平間寺）」が庶民に信仰されたことで、「川崎」は大いに賑わい発展しました。

このような長い歴史を有する都市・川崎。近代以降は軽工業から重工業へ、そして臨海部においては京浜工業地帯の中核として重要な位置を占めました。現代ではその姿も次第に変貌し、ITを主とした産業都市として発展しています。その間、私たちの社会や生活を支える多く



創業時(明治40年)の横浜製糖

の産業製品が、川崎で作られています。都市・川崎は、一方でモノづくり都市という側面も有していました。そんな技術や開発力について、第1部「川崎モノづくり物語」では紹介したいと思います。

川崎は「東洋のマンチェスター」

多摩川、東京湾の水運、さらに鉄道の開通による陸運、大消費都市東京と横浜に挟まれた川崎は、その便の良さで早くから工場が進出しました。

1907(明治40)年に、現在の川崎駅北側に横浜製糖(現:大日本明治製糖)が工場を建設し、操業を開始しました。これを皮切りに、1908年に東京電気(現:東芝)、1909年には日米蓄音機商会(現:コロムビアミュージックエンタテインメント)、さらに1913(大正2)年鈴木商店(現:味の素)が工場を建設しました。これら初期段階の工場は、いずれも多摩川沿いに建設されており、当時原材料や製品輸送に水運がいかに利用されていたか窺えます。また1913年には堀之内町にあった競馬場跡地に富士瓦斯紡績が進出するなど、当時の川崎は「東洋のマンチェスター」と新聞に報道されるほど、工業都市化が急激に進みました。その背景には、安い地価、工場進出を是とする川崎町議会の判断がありました。

さて臨海部では、その遠浅の地に目を付けた浅野総一郎によって埋立計画がたてられ、鶴見川河口域の横浜方

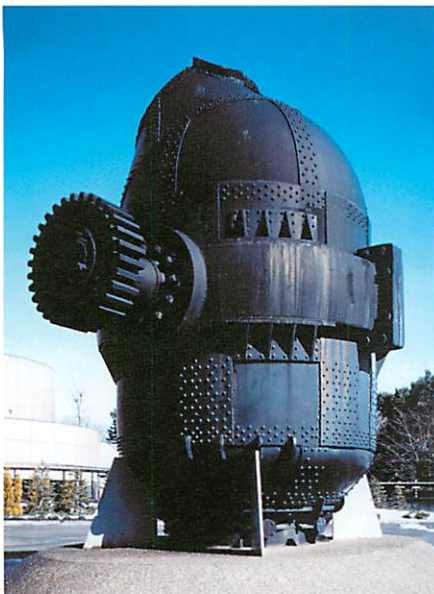
面から、次第に多摩川方面に向けて順次埋め立てられていきました。日本鋼管(現：JFEスチール)は、1912(明治45)年に若尾新田に製鉄所を建設し、その後1936(昭和11)年には埋立地である扇町に新規工場を建設、トーマス転炉を導入し銑鋼一貫体制を整備して我が国の鉄鋼業をリードしました。そのほか埋立地域では、富士通信機製造、東京電灯火力発電所、昭和電工、特殊製鋼、日本冶金工業などが進出し、戦前には重工場地帯として発展しました。一方内陸部においても、南武線沿いに東洋通信機(矢向)、日本電気(向河原)、東京航空計器(武蔵小杉)、沖電気(武蔵中原)、日本光学(武蔵溝ノ口)など数多くの軍需産業の工場が戦前には進出しました。

重工業都市からIT(情報技術)産業都市へ

戦後も工業都市・川崎の基幹は鉄鋼業でしたが、臨海部では新規に完成した埋立地に、日本石油化学や日本触媒、東燃石油化学、三井化学工業などが進出し、一大石油化学コンビナートが形成されました。一方、川崎に工場が進出して以来の代表的な産業として、電機工業があります。その代表的企業が東芝ですが、戦前に南武線沿いに形成された内陸部工場も平和産業へと転換する中で、各種の電気機器製造業が発達しました。1950年代以降は半導体やIC、LSIなど最先端技術による開発、製造が飛躍的に発展し、コンピュータ関連産業によるハイテクラインが南武線沿線に形成されました。



味の素新聞広告(東京日日新聞大正6年9月17日付)



日本鋼管のトーマス転炉(ミュージアム前庭)

新たな時代の都市のあり方を模索

都市・川崎の発展という光の裏側には、影もありました。すなわち工業公害の問題で、降灰・煤煙・騒音など公害が1960年以降社会問題となり、川崎は「公害の町」というネガティブなレッテルが貼られてしまいました。これに対し、いち早く公害をなくす町への取り組みをはじめ、住み良い環境を作り上げ、そして都市・川崎は新たな時代のアイデンティティを模索しはじめました。その一つとして近代以降川崎とともに発展してきた産業の底力を再確認しようと、その技術力と開発力に視点を向けた「モノづくり」を取り上げています。大企業の工場進出は、それに伴い周辺に部品製造などの中小企業が集まり、ミクロな産業都市を形成します。そこには良い製品づくりのための、技術力と開発力が蓄積されていきます。第1部の展示では、日米蓄音機商会の国産第1号の蓄音機や、IT産業の中で登場した東芝のワープロ第1号機をはじめ、現代のハイテク産業から生まれた工業生産品などを紹介します。

公募展～川崎の過去・現在・未来を表現する

また、都市・川崎に住み、そして集う人たちに、あらためて川崎を見つめなおし、新たな川崎のイメージを作ってもらおうと、メイド・イン・カワサキ第2部「都市・川崎を創造する」では公募によって入選した現代美術を展示します。

ここでは川崎の過去・現在・未来を表現するクリエイティブで、かつパワフルな現代美術作品を通して、観覧者自らが21世紀の川崎をイメージし、都市・川崎について考え、川崎を誇りに思ってもらえればと思います。市民ミュージアムでははじめての公募展ですが、市民の皆さんとともに未来の川崎像を考えるきっかけになるよう期待しています。

◆メイド・イン・カワサキ◆

- 第1部 都市・川崎モノづくり物語 会期：2006年1月21日～2月26日
- 第2部 都市・川崎を創造する —メイド・イン・カワサキ現代美術賞—
- 会期：2006年3月11日～4月2日
- 問い合わせ 川崎市市民ミュージアム ☎044(754)4500



公募展作品募集のチラシ

藝術文化ロード

このコーナーでは、日本民家園、市民ミュージアム、青少年科学館、岡本太郎美術館の施設を紹介します。それぞれの館の特色や見どころを順次掲載します。今回は川崎市市民ミュージアムからお届けします。

原始・古代の川崎にふれる2つの展示

—川崎市市民ミュージアム—

川崎市市民ミュージアムは、川崎市域の考古・歴史・民俗資料を所蔵しており、様々な展示を通して、市民の皆さんに川崎の歴史に触れていただいています。現在は特別資料室において、「資料が語る川崎の歴史」展を開催し、原始から江戸時代に係わる歴史資料と現代まで伝承されてきた民俗資料をご紹介します。来年2月以降には、川崎の原始・古代を知るための展覧会を二つ開催します。今回の「藝術文化ロード」のコーナーでは、この二つの展覧会をご紹介します。

「新収蔵考古資料展」

(2月11日(祝)～7月2日(日)／1階特別資料室)

一つは、川崎市内から発掘調査によって出土した考古資料のなかで、最近市民ミュージアムに収蔵された資料を中心に展示を行う「新収蔵考古資料展」です。

ここ数年、川崎市内からは重要な発見が相次いでいます。例えば麻生区新百合ヶ丘駅前の万福寺遺跡群では、縄文時代の最も古い土器の一つである、微隆起線文土器(びりゅうきせんもんどき)が発見されました。この発見によって川崎市内にも約1万2～3千年前にすでに人類が住んでいたことがはっきりしました。旧石器時代から縄文時代へ移り変わって

まもない段階にあたるこの時期は、周辺地域でも確認された遺跡は少なく、当時の生活環境や社会を考える上で、重要な発見となりました。

また考古資料は、土地に埋蔵されているという特性から、個人の方によって守られ・伝えられている資料も意外と多くあります。

考古資料(埋蔵文化財)に関する法律がまだ整備されていない頃に破壊されていた遺跡から、個人の努力によって収集されてきたものや、遺跡に通って地表面にある土器や石器を拾い集め、丹念に復元した資料など、個人の方の力によって、地域の歴史を語る材料が保管されてきました。大切に保管されてきた市内や県内外の考古資料を市民ミュージアムにも寄贈していただいています。こうした寄贈資料も併せて展示します。



宮前区大蔵遺跡群出土の弥生土器。この地域に弥生時代の環濠集落が存在したことは重要な発見である。

企画展「弥生・古墳・飛鳥を考える」(4月29日(祝)～6月25日(日)／企画展示室) ……………

もう一つは弥生時代～飛鳥時代の墓から、原始・古代について考えてもらう「弥生・古墳・飛鳥を考える」展です。この企画展は横浜市歴史博物館・川崎市市民ミュージアム・府中市郷土の森博物館の3館が共同で行うもので、弥生時代については横浜、古墳時代については川崎、飛鳥時代については府中でそれぞれ分担し、開催時期を一緒にして、3館で一つという少し変わった大きな展覧会です。

市民ミュージアムが担当する古墳時代は、「古墳の出現とその展開」というサブタイトルを付けて、主に南関東の古墳の出現について紹介する内容です。

古墳は当時の豪族の墓として出現しますが、政治的なシンボルでもありました。南関東では遅くとも4世紀中頃には前方後円墳が築かれ、川崎市幸区の白山古墳もそうした古い古墳のひとつです。こうした古墳がいつ、何故出現するのか、新旧の学説を紹介しながら、最近の発掘成果を交えて展示・

解説していきます。

古墳は時間とともにその意味が変化していきます。川崎市周辺では、5世紀になると前方後円墳の築造が極端に少なくなります。出土する物も、甲冑などの武器や窯で生産される焼物である須恵器、組み合わせで作る準構造船など大陸との関わりが深い物が主流となります。6世紀になると埴輪が作られます。また、崖の斜面に横穴を掘って埋葬する部屋を作る横穴墓(よこあなぼ・おうけつぼ)が出現しますが、その数は一箇所に数十基作られていきます。その背景には古墳を築造できる人たちが増加した結果であると推測されています。こうした動きを、川崎市内から出土した資料を中心に説明していきます。そして、その後古墳はどのように変質していくかを府中の展示にボタンタッチしていきます。

3館を一日で廻るバスツアーや講演会など関連イベントも用意しています。ぜひご来場ください。(学芸員 浜田晋介)

●市民ミュージアム企画展のお知らせ●

◆大 水木しげる展

観覧料：一般900円、中高生500円、
中学生以下と65歳以上は無料

会期：2006年1月9日(月・祝)まで

開館時間：9:30～17:00(入館は16:30まで)

休館日：月曜日、祝日の翌日、12月28日(水)～1月2日(月)

問い合わせ⇒☎044(754)4500

交通⇒武蔵小杉駅(JR・東急東横線・目黒線)北口からバスで約10分 ホームページ⇒<http://home.catv.ne.jp/hh/kcm/>

まち・ひと・多面体

新春の行事を次世代に伝える

「あさお古風七草粥の会」

「君がため春の野にいでて若菜摘む わが衣手に雪はふりつつ」小倉百人一首でおなじみのこの歌に出てくる「若菜」は「七草」のことと言われています。一年の無病息災を願って1月7日に食べる七草粥。麻生区の麻生文化協会では、「あさお古風七草粥を食べる会」を、1988年から新年の行事として行ってきました。はじめは細山の郷土資料館を会場としていましたが、3年前から広く区民の方にも食べてもらいたいと麻生区役所前の広場で行うようになりました。会場を移してからは、毎年400人以上の人が集い賑わっているそうです。

「あさお古風七草粥の会」の準備は、約400食から500食の材料調達から始まります。文化協会の会員を中心として黒川で作った米や、区民の手による体験農業で収穫したもち米で餅をつく手配、当日のイベント、ボランティア要請など、11月ごろから着々と準備を進めています。セリ、ナズナ、ゴギョウ、ハコベラ、ホトケノザ、スズナ、スズシロの七草は自然豊かな黒川に探しに行くそうです。七草粥の味付けは地方によって多少異なっているようですが、ここの「古風七草粥」は麻生の農家に昔から伝わっている鯉節で味付けをしていて「風味が豊かでおいしい」と好評です。

当日は、麻生市民館の料理室で米や餅そして七草などの材

料を下ごしらえし、それを直径60cmの大鍋二つに移し、野外で炊き上げます。例年11時から始まりますが、湯気と香りに誘われて早々に長蛇の列ができるということです。世話役をしている文化協会の千坂隆男さんは「大勢のみなさんに喜んでいただきうれしいです。文化協会のメンバーの他に、いろいろな団体の方が行事に協力してくれてとても心強いです」と話していました。

新春7日は、地元の獅子舞や太鼓、お囃子、「麻生童謡をうたう会」などのイベントも予定されています。お粥をいただきながら麻生のお正月を楽しんではいかがでしょうか。

◆問い合わせ ☎044(951)1300 麻生区文化協会事務局 (麻生市民館内)



くらし百景

俳壇

長寿荘俳句クラブ

晩秋や手を結びあふ道祖神

消しゴムに消せぬことあり石路の花

菊日和鎌倉五山終日

朝明けの安曇野翔ける稲雀

短日や逢ひたしの電話眉を引く

松手入れ鉄のひびき匠なり

衣被嬰の確かな蒙古斑

稲雀句座百態の舌足らず

稲雀翔ちては戻る山田かな

眠る山煤けて鈍き自在鉤

紅葉山小さな駅を抱きをり

晩秋や球根土に眠らせる

古池の田舟に乾く鴉の糞

青石に不死男の一句霜柱

極月やゆるり緩りと内視鏡

稲雀投網のごとく降りにけり

全たうす母の白寿や眠る山

これよりは年齢を数へぬ花八っ手

秋霖や右も左も雨女

冬の雨ぬれて阿吽の獅子頭

小春日や魚拓の口の半開き

マラソンに人湧く湖畔冬桜

街角の花屋明るき十二月

粧ひを静かに解きて山眠る

台詞なき大河ドラマや菊人形

山門に今日の格言銀杏散る

棟上の法被姿や今年酒

露天風呂流れる霧の音ひろふ

根本よし子

小山 文夫

増本 綾子

大柿 水芳

石井 明

杉田 京子

張替 松均

茂呂昭太郎

茂呂 良子

市川 紅月

池上ウタ子

清水けい子

山本 房子

高橋 弘光

高橋 弘光

※川崎市老人福祉センターでは二千種に及ぶクラブ活動をしています。俳句クラブもその一つで、「湧紅俳句会」といいます。市民で六十歳以上の方は自由に参加でき、毎月第一・三木曜日に投句・互選・選評の自主研修方式で行っています。結成三十五年になります。問い合わせは、川崎市老人福祉センター長寿荘。 ☎044(777)6000

情報コーナー イベントパーク 講座・コンサート他

●混声合唱「津田山コーラス15周年記念演奏会」

～ブロードウェイ爆笑ミュージカル プロデューサーズ

12月4日(日)14時、高津市民館大ホール。指揮は金星かおる。ピアノ山口昌子。第1部は懐かしのカントリー。「テネシーワルツ」「思い出のグリーングラス」他。第2部はミュージカル「プロデューサーズ」。「おれはやるぞ」「ミュージカルは楽しく」他。無料。☎(811)9266の早河さん。

●笹子まさえ「かわさき歌の旅～宮前区の巻」

12月11日(日)14時半開演、宮前市民館大ホール。箕輪響指揮、笹子まさえ(メゾ・ソプラノ)、早瀬充恵(ピアノ)、賛助出演宮前ウインドオーケストラ。オペラ「カルメン」ハイライト、「かわさきのねいろ」他。3000円。☎(754)6868のNPO法人さえの会事務局まで。

●第6回MUZAランチタイムコンサート

12月14日(木)12時10分開演、ミュゼザ川崎シンフォニーホール。河野さとみ&ハンドベル・ベリーズのハンドベルコンサート。500円。☎(520)0200の同ホール。

●神奈川フィルハーモニー管弦楽団コンサート

①特別演奏会「第九」②シュナイト音楽堂シリーズVol.VII「フィルハーモニーの原点」

①は12月27日(火)19時開演、神奈川県民ホール。ペーターヴェン交響曲第9番「合唱付」他。現田茂夫指揮。全席指定1000円～6000円。②は2006年1月14日(土)15時開演、神奈川県立音楽堂。モーツァルト交響曲第32番ト長調他。ハンス＝マルティン・シュナイト指揮。全席指定2500円～3500円。☎は共に☎045(331)6699、平日の10時～18時。

●川崎市民プラザ①ダンスパーティー②社交ダンス教室

①は12月17日(土)18時半。前売りチケットは2500円。発売中。②は2006年1月14日～3月25日の毎土曜(祝日を除く)全10回。ベーシッククラスは9時半、ステップアップクラスは12時。各クラス男女各30人。受講料12000円。12月1日(木)より受付開始。受講料を添えてプラザフロントへ(先着順)。☎(888)3131。

●青少年創作センター新春創作教室(小・中学生対象)

①陶芸②トールペイント③油絵。①②とも2006年1月28日～2月25日の土曜(2月11日を除く)全4回。時間は①9時半②13時半。定員は①30人②20人(共に抽選)費用は①1000円②2000円。③2006年1月29日(日)、2月4日(土)、18日(土)の9時半。定員は20人(抽選)。費用は1800円。☎12月1日(木)～12月23日(金)までに往復はがきに教室名、氏名、住所、性別、☎、学校名・学年を記し〒214-0034 多摩区三田2-3303-1 同センター。☎(911)1510。

●青少年創作センター新春創作教室「はたおり」(成人対象)

2006年2月7日～21日の火曜、全3回。時間10時。定員12人(抽選)。費用は3000円。☎12月1日(木)～23日(金)までに往復はがきに教室名、氏名、住所、性別、☎を記し〒214-0034 多摩区三田2-3303-1 同センター。☎(911)1510。

●玉川大学公開講座

12月開講の「金愛淑のゴルフ教室」「翻訳者養成講座」「自動体外式除細動講座」など7講座の受講生を募集。詳細は☎042(739)8895の同大学継続学習センター。

●東芝科学館①アトム工房科学実験教室②GEMS探検隊

①は12月3日(土)10時と13時半。「まわるおもちゃを作ろう!」。対象は小学1年～4年生の親子、各40組。②は12月17日(土)10時と13時半。「ミステリーフェスティバル」。別荘で起こった事件を科学的実験で解明する。対象は、午前は小学1年～4年生、午後は小学3年～中学生。各50人。費用は①②とも500円。要予約。☎(549)2200の同館。

●ミニ画廊スナック琴～風景写真展

12月3日(土)～30日(金)まで、夢クラブと福士岩夫の作品他。作品の展示は無料。場所は幸区鹿島田。☎(544)0507。

●「第26回コーギーコンサート」出演者募集

「コーギーコンサート」は、プロ・アマを問わず、日頃クラシック音楽の練習に励んでいる大人の方々を対象にした音楽発表の場です。2006年2月12日(日)13時半から高津区溝口の糝ホールで行うコンサートの出演者を募集中。締切は12月20日(火)まで。詳細は☎(812)6090の糝ホール。

川崎市生涯学習プラザ 施設貸館のご案内

川崎市生涯学習プラザは、学習活動の場として利用いただく通年開館の施設で、高校生以上で構成された団体に貸し出しています。講演会、会議、研修、サークル活動、ダンス、卓球、合唱、演奏などにご利用ください。(年末・年始と施設点検の時は休館)

- ◆施設…会議室4室(円卓2室)・大会議室1室・和室・多目的ルーム・フィットネスルーム
- ◆交通…JR南武線・東横線武蔵小杉駅から徒歩12分
- ◆申し込み…会議室は使用する3ヵ月前の同じ日から使用の3日前まで受け付け。多目的ルーム・フィットネスルームは使用する月の3ヵ月前の月初(平日)に抽選。
- ◆問い合わせ…料金及び詳細については☎044(733)5560
※ホームページ<http://www.kpal.or.jp>に「施設利用案内」がありますのでご覧ください。

今月の表紙

フランスのポスター。1894年作品。90.3×64.0cm。川崎市市民ミュージアム所蔵。

アルティザン・モデルヌは、ロートレックの友人で版画集『エスタンプ・オリジナル』の発行人として知られるアンドレ・マルティが設立した室内装飾の会社。工具箱をさげた白衣の職人が、依頼人の貴婦人の指示を受けているところが描かれている。職人のモデルになったのは、やはりロートレックの友人アンリ・ノック。

■年末年始休館のお知らせ■川崎市生涯学習プラザと新百合トウェンティワンは12月29日(火)から新年1月3日(火)まで休館となります。(28日(火)と4日(火)は窓口受け付けのみ17時まで行います)